

附幼だより

鳥取大学附属幼稚園

鳥取市湖山町北2丁目465番地

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/youchien/>

2022. 7. 20

失敗こそが ほめるチャンス

副園長 志和 智恵

遊戯室で、子どもたちが縄跳びをして遊んでいます。前跳び、後ろ跳び、大縄跳びなど様々な跳び方をして楽しんでいます。

教育実習の先生に、縄を片足に結びつけてくるくると回し、それを反対の足で跳び越すという遊び方を教えてもらいました。にじの組の二人も早速挑戦します。でも、なかなかできません。片方の足は縄を回す、もう片方の足は縄を跳び越えるという、高度なテクニックが必要だからです。二人とも、足をばたばたとさせて、何度も何度も挑戦します。時には、足に絡ませて転んでしまうこともあります。それでも、また立ち上がって挑戦します。「もうちょっとだよ。」「今、跳ベそうだったよ。」「リズムは良くなったよ。」「先生たちも応援します。ばたばた、ばたん、ばたばた、ばたん。何度も何度も転んでいます。いやになってやめちゃうかもと見守っていたとき、突然ふわっと体がういて、縄をきれいに跳び越していきました。1, 2, 3。3回跳ぶことができました。できた本人も、きょんとしていました。が、「やったあ、できた。」「がんばったね。」という先生の声聞いて、にっこにこの笑顔になりました。その後、二人ともくるくると縄をまわしながら遊戯室の中を駆け回って遊んでいました。

うまくできたときに「すごいね」「すてきだね」とほめることはよくあります。私たち保育者は、失敗したときこそほめるチャンスとも思っています。失敗するということは、子どもが難しいことに挑戦していて、今までできなかった未知の世界に一步踏み出した証拠なのです。私たちは子どもが今の自分を超えていこうと一生懸命頑張っている過程に寄り添って、共に悩んだり、励ましたりしていきたいと思っています。そして、できるようになったときに思いっきり喜び合えればすてきだなと思います。

過去を振り返ってみると、私たち大人にはどんなにがんばってもうまくできなくて、くやしくて眠れなかったこともあると思います。でも、その失敗があったからこそ、今、私たちはここでこうして笑顔でいられるのではないのでしょうか。

ゴールは一つではありません。がんばっている過程を認めて、たくさんのほめ言葉で支えて寄り添いながら、子どもたちがたどり着いたゴールですてきな幸せを分かち合えたらいいなと思います。



。そらさんに
なりたい

。むしがいつぱい
とれますように

。けえきやさんに
なれますように

。さつかがじょうずに
なりますように

。かきごおりと
ぷりんが たべたい

。きょうだいみんなで
なかよくあそべますように

。おとなになったら
ぷりうすに のりたい

。りんごが
たくさんほしい

。よつばの くろーばーが
みつかりますように

。でんしゃの
うんてんしゅに
なりたい

。ぱいナップるが
たべたい

。きょうりゅうの
かせきを みつけたいな

。えが じょうずに
なりますように

。むらさきの ちようちょ
になりたい

。さいばんかに
なりたい

。まらそんせんしゅに
なりたい

。ちっちゃな すずめ
に なれますように

。なわとびを
いつぱいとびたい

。みんなが
ころなの びょうきに
なりませんように

。たんじょうびの
けーきが ほしい

。ごはんをぜんぶ
たべたい

。おとうさん おかあさんと
りにあに のれますように

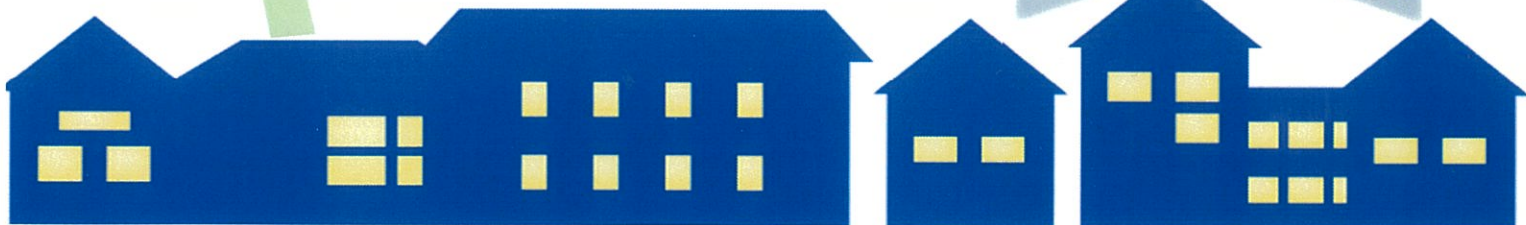
。ちっちゃくて かわいい
ねこに なれますように

。みんなで いつぱい
あそべますように

。かぞくと いっしょに
。おきなわと はわいに
いけますように

。ぷりんと あいすを
たべたい

たなばたさまの
ながいごと



ほいくのまど

ほしのくみ

年少



みつけた!すきなあそび

繰り返し遊んで



花や草、木の実から色を出して楽しむ色水遊び。園庭遊具や砂場での遊び。繰り返し遊ぶことで、遊びが上手になったり、昨日と今日の違いを発見したりしています。真剣な顔で、長い時間遊び続ける姿が見られます。

ジャングルジムの高いところに登ったり、築山の坂を駆け下りたり、松林のアスレチック遊具を渡ったりして、挑戦する姿が見られます。少し怖そうなこと、難しそうなことも繰り返し遊ぶことで、自信をもち「できた」や「またする」という声がたくさん聞こえます。

自信をもって



素材の特徴を味わって

砂や水、シャボンの液などいろいろなものに触れて、遊んでいます。「砂の中に足を入れると気持ちいい」「水の中の方が気持ちいいで。」「シャボン玉大きいのはふーって吹く」「わたしはいっぱい作る」などそれぞれ感じたこと思ったことを話し、それぞれの素材の特徴を捉えて遊んでいます。

保育者と一緒に



「せんせい食べて」「せんせい見て」と、いろいろな場所で保育者を呼ぶ声。保育者がそばにいと安心し、一緒に遊ぶと楽しいという様子が見られます。



友だちと一緒に楽しいな

友だちとブランコをこぎながら歌を一緒に歌う。「足が重いよ」と一人の子が言うと友だちがよってきて一緒に三輪車を押す。雨の日にみんなで散歩するとみんな自然とにこにこ笑顔。友だちと一緒にいるとなんだか楽しくなっちゃう、そんな笑顔や笑い声がいっぱいです。



1学期のアルバム



年中
にじ



山をつくるぞ



つみき
楽しいな。



きれいな色の
色水できたよ



迷路の本
おもしろいね



ダンス
おどるよ

色水実験！
何色になるかな？



年長
そら

トン トン
くぎ打ち



三輪車
風がきもちいい



附幼まつり ありがとうございました！



魚釣り



工作



わなげ



7月15日、附幼まつりが行われました。子どもたちは、スーパーボールすくい、的当て、魚釣り、わなげ、工作など様々なコーナーを回り、お祭りを楽しんでいました。保護者の皆様には当日だけでなく、事前の準備等大変お世話になり、ありがとうございました。